

地層を見学

2022

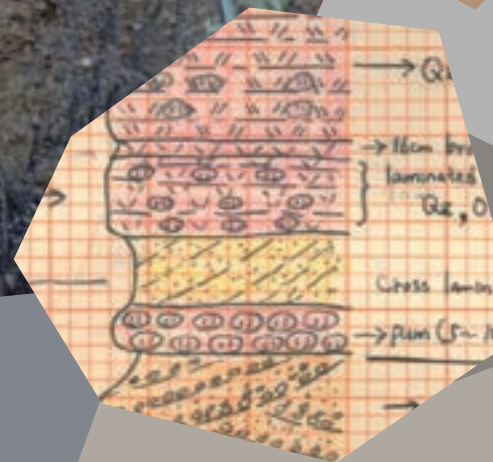
*2日間連続

11/12(土)

13(日)

10:00-16:00

風景の内側を描く



令和4年度 高校生ワークショップ 「地層を見る／風景の内側を描く」

私たちが何かを見つめるとき、そこにどのような意味を見出すのかは、その人の感性や知識、経験などによって異なります。このワークショップでは、地質学者の力を借りて、大地の中を見透かす目で自然風景を見つめることで、見慣れた自然風景から新たな世界を発見するとともに、それを描くことに挑戦してみます。

自然や風景に興味がある方、いつもと違う絵の描き方を試してみたい方、理系だけど絵も好きだという方、サイエンスイラストレーションに興味がある方などにおすすめです。

対象：高校生及びそれに該当する年齢の方

定員：16名(申込多数の場合は抽選)

会場：創作室2、美術館敷地内、広瀬側の河原

参加費：無料

講師：高嶋礼詩(地質学者・東北大学学術資源研究公開センター教授)

持ち物：昼食、屋外での活動が可能な服装、
(あれば、クロッキーブック、鉛筆などのドローイング用具、絵具などの画材)
※マスクの着用をお願いいたします。
※基本的な材料・用具については当館で準備いたします。

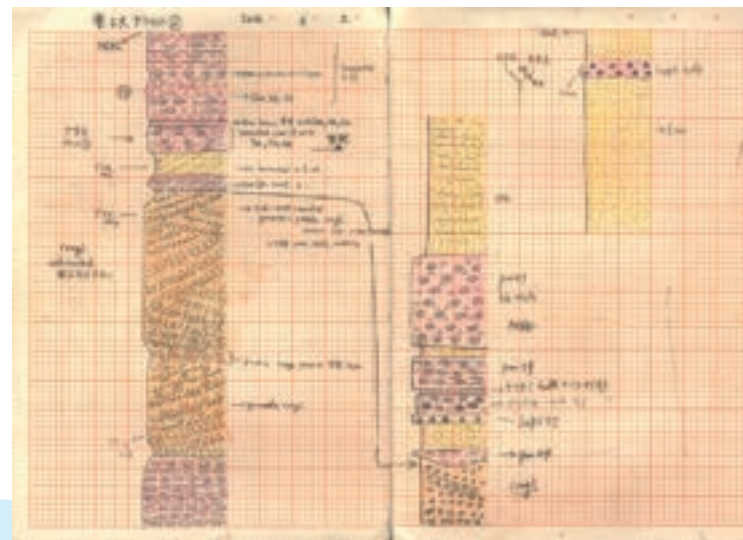
申込方法：事前に当館ウェブサイトの「申込フォーム」、または電話でお申し込みください。
(創作室：022-221-2114)
(URL：<https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/education-education-06-01.html>)

申込期間：10月15日(土) 9:00から
10月30日(日) 17:00まで
※電話は休館日を除く

参加決定：11月1日(火)以降、教育普及部から申込者全員にメール
または電話で参加の可否をお知らせいたします。
11月5日(土)までに連絡が無い場合は、創作室までご連絡ください。

※ワークショップ当日は、当館ウェブサイトやTwitterによる広報及び記録用に撮影(写真、映像)をさせていただきます。

※実施につきましては、新型コロナウイルスの感染症対策の為、延期や中止とさせていただきますので、事前に当館ウェブサイトやTwitter、お電話にて御確認ください。



地層の観察に基づいて、柱状図が描き込まれたフィールドノート

2022年 **11月12日(土)** 10:00-16:00

午前中には、風景の見える部分と見えない部分について考えたり、広瀬川のまわりの風景のなりたちについて考えたりします。午後には、実際に広瀬川の河原にでかけ、スケッチなどを描きます。

2022年 **11月13日(日)** 10:00-16:00

午前中には、様々な風景の描き方を確認した後に、再び広瀬川の河原にでかけ、スケッチなどを描きます。午後には、それまでの活動を踏まえて、新たに見たり想像したりすることのできた風景を描き留めることを試してみます。

※2日間連続

宮城県美術館

〒980-0861 宮城県仙台市青葉区川内元支倉 34-1
[Website] <https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>
[Twitter] @miyagi_bijutu

高嶋礼詩 (たかしまれいし)

博士(理学)。地質学者。現在東北大学学術資源研究公開センター教授、東北大学総合学術博物館館長。主に北海道とフランスをフィールドに、白亜紀の古環境変動を研究する。100近くの論文・書籍を執筆する一方で、様々な人々を対象としたアウトリーチ活動を多数行っている。